



Q 国保相談窓口の設置を

武田 猛見 議員

A 生活支援も含めて改善



保険年金課窓口

Q1

国保の階層別滞納の状況は、資格証明書の発行前と後の収納状況は。

法定外の減免利用状況と拡充の考えは。窓口負担の減免制度の検討は。納付だけにこだわらない相談窓口を。

A1

200万円未満の所得者の滞納が、13年度から70%を超えており、15年度は73%と増加しています。

証明書発行は、収納率向上につながっていません。

減免の利用は、15年度で4件、16年度で6件ありました。減免要網の拡充は考えていません。

窓口減免については、盛岡市で実施してですが財政上の課題もあり調査します。

相談窓口については、納付だけでなく医療費関係や生活支援まで及ぶことから相談しやすい窓口の改善に努めます。

Q2

介護保険の見直し負担増は

「新予防給付」の対象は。施設給付の見直しで負担はいくら増えるか。

制度変更で保険料負担の見直しはあるのか。

訪問介護の軽減を含めて、村として低所得者の保険料・利用料軽減の対策は。

A2

介護認定者は1000人ほどおり、新給付の対象は500人ほどになります。

また、施設の自己負担は、新3段階で月15000円、新4段階で月30000円増える計算になります。第2段階が新2と新3段階になり保険料が半々の割合になります。訪問介護軽減は廃止し、他の軽減は、現行水準で継続を考えています。

福祉の見直しすべきでない

Q3

17年度予算では福祉分野の見直しをしようとしていたが具体的に福祉分野補助金の整理合理化はするべきではないのでは。

A3

重点化し、子どもの分野は子育て支援事業、高齢者分野は介護予防事業を重点化しており、他の分野も若干の変更はあります。補助金の見直しは、基本的にはすべての補助金について交付基準に基づき適切に交付していきます。